

透過型電子顕微鏡 TEM 講習のご案内

— サンプルングから観察まで(生物・基礎編) —

自然科学研究支援開発センター
遺伝子実験部門

この度、当施設では生物系を対象とした透過型電子顕微鏡の試料作製から観察・写真撮影までの講習会を下記の要領で行うことにいたしました。

「独りでできる」技術を習得することを目標としますので、4日間と長い日程ですが、**全ての日程に参加可能な方**を対象とさせていただきます。

参加ご希望者は**12月10日まで**にお申し込みください。なお、希望者多数の場合は日時を改めてご案内する場合があります(大学院生を優先)。予めご了承ください。

日時：平成21年12月21日(月)～12月25日(金)

場所：東広島キャンパス

自然科学研究支援開発センター・遺伝子実験棟

定員：4名程度

料金：無料

対象者：大学院生(教職員、本事業支援員可)

講師：小池香苗(自然科学研究支援開発センター)

日程	内容
12月21日 (14:00～)	試料作製法概論、試料固定(実習)
12月22日 (9:30～19:00)	試料作製(実習)
12月24日 (9:30～15:30)	超薄切片作製法(ウルトラマイクローム実習)
12月25日 (13:00～16:00)	透過型電子顕微鏡(JEM-1200EX)の操作法、観察・写真撮影

●受講申し込み方法●

cgswww@hiroshima-u.ac.jp 宛てに『生物電子顕微鏡講習参加希望』の件名で、

(1)参加者氏名 (2)参加者所属 (3)利用申請者(実験責任者) (4)利用申請者所属
を記入してメールをお送りください。

その他の詳細は、内線 3060(担当:小池)、またはcgswww@hiroshima-u.ac.jp までお問い合わせください。

なお、お申し込みをいただきました際には必ずメールで返信いたします。お申し込みになられてから数日たっても受け付けの返信メールが無い場合には、恐れ入りますが電話で直接ご連絡ください。

本講習会の趣旨：

現在、持続可能な社会へ向けての健康管理、環境・エネルギー問題に対し、安全・安心な解決法や対応策が望まれています。広島大学ではこの問題解決に向けて理・工・医学系研究者の連携による全学横断的研究プロジェクト「持続可能な社会構築に向けたイノベーション創出」を推進しています。本プロジェクトでは「教育研究高度化のための支援体制整備事業(平成21年度補正予算)」のサポートで広島大学における高度な教育研究支援体制の整備を進めており、その一環として本講習会が開催されます。